

二十四日から七日間 平町の肉食獎勵デー

縣が主催で羊豚鶏肉廉賣 指定販賣店三軒

本縣では畜産業の發達を期するため豫ねて肉食を獎勵して來たが今回縣主催で來る二十四日から七日間羊豚鶏肉の廉賣を行ふことになつた、つまりこの一週間の食宣傳をなすことになつたのであるが平町の指定販賣店は三三三屋、鳥留、大塚駒太郎店の三軒である、価格は百匁につき、羊四十五錢、豚三十五錢、鶏肉五十錢から七十五錢の程度である

出漁期が 近付いて

各濱活氣漲る

石城郡小名濱、江名、豊間四倉等俗に石城七濱と稱されてゐる各濱も愈々出漁期が近付いて來て昨今出漁準備その他でポツ／＼活氣を呈して來た、昨年は極度の天候不順から各濱書入れの鯉漁が近年稀れな不漁を續けて當業者は非常な苦況あつたが目下の處天候氣温等は幾分變調味であるが潮流は頗る順調であるから先づ豊漁は確實を豫想されてゐる、更らに小名、江名、豊間の三濱は大敷網がある關係上出漁船の不漁も幾分緩和されて來たが投網期節も愈々近付いて來たので各地から

お花見準備 松ヶ岡公園の 常夜燈を設く

平町松ヶ岡公園及び新川畔の櫻は來月二十四五日頃

満開なりと豫想され同町土木課では目下同公園の手入及び諸般の趣向を凝らすべく準備に着手したが一方東部電力會社平營業所では平町役場と協力し本年も例年の如く松ヶ岡公園と新川畔に廣告の常夜燈を設けて花景氣を煽る事となり今月末頃から廣告燈の募集を開始する等準備萬端に當つて居る

自作農が多い 最近の調査

平署管内に

平署に於て調査中であつた管内廿二ヶ町村の農家戸數は七千五百一十戸で自作三二五〇小作一五四一自作兼小作二二六〇戸で左記全郡の割合から見れば郡南の如く比較的大地主がないので自作農の率が高くなつてゐる又同署管内で自作農の最も多きは好間村の三百廿四戸（小作五〇）最も少なきは平町の廿一戸（小作六〇）で

兩者の現象が恰度自作小作反對率になつてゐるのが面白い比例である

郡内農家一三〇一、自作四四五四、小作一九七九、自作兼小作三〇九八

火の子協議 仲問町の 不安に駈られて

平野大工町踏切が列車の飛火で惱まされてゐる事は既報の如くであるが、同町は汽關車を入換してゐるので一日中火の子が飛び風の強い日等には仲問町方面一帯火の子をかぶると云ふ有様なので危険此の上なく殊に最近は何回に亘つて火事騒ぎに全く不安にかられた同方面では近く區民大會を開き善後策を協議し鐵道當局に對して豫防方法を講ずる陳情する由である

産看卒業生 清野女史經營の

平町南町平産婆看護婦學校

にては十八日午後二時から第廿二回卒業證書授與式を舉行する筈であるが卒業者氏名左記の如くである



胡麻豆腐の調理法

胡麻豆腐は榮養價值多く而も頗る經濟的なものであります誰にもたやすく作れます

道試合あり再び團員五分間 演説あつて午後二時半散會

した

内容が正直 納税觀念普及

平稅務署の所得營業收益兩稅申告は十五日で締切つたが申告總數千五百通で申告書配付五千通の三分の一に過ぎないが從來に比べると成績はすこぶる良好で申告の内容もこれまでとはほとんど出たら目だつたが今年は大分眞に近しいのであるべく申告を是認する方針をた

寺内飽（勿來）佐藤ヤス（湯本町）菊地ナミ（湯本町）緑川フク子（植田町）緑川ハルノ（平町）宮本ツメヨ（好間村）白石ハルキ（平町）四家トシ（内郷村）鹽原ユキ（好間村）平子トキ（平町）先崎サタ子（平町）須藤ヒデ（平町）鈴木トヨ（平町）鈴木文子（湯本町）鈴木ヨシイ（夏井村）

小名濱港に 棧橋を設く 工費八千圓

石城郡小名濱港の船着場は昨秋の風水害で流砂のため埋まり小型汽船すら近寄れず大型漁船は沖合に投錨し傳馬船により辛うじて連絡を保つてゐる始末で漁業組合では昨年九月以降深溝機を取付け鋭意浚渫につとめて來たが思ふやうでないため取敢ず幅十間長さ三十間

募集 文藝其他投稿 を募集します

の棧橋を設けることとし八千圓を投じて昨十五日着工したが今後は同棧橋を利用して從來の船着場は商港實現後に大規模に改良する計畫である

すからお試し下さい、まづ白胡麻一合を拭巾に包んでみ洗ひし、水氣を切つて大皿の上にあけて乾ます、かわきまじら之をほうろくで香しく灼り摺鉢にあけてよくすります、すれたら水一合を合へてごろ／＼にすり裏こしにかけて粕を捨てます、それに更に水二合

明日の天気
北西の風
晴れ次第
に曇る

市原病院

平町田町（電話一一四番）

内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男

けふの青年總會 第三方面部の集りに 新渡戸博士來講す

既報石城郡第三方面部聯合青年總會は本日午前十時から聚樂館に於て開催平町を中心として近郷から參集せる青年無慮千數百を算するの

盛況に て定刻會長

會我平第一小學校長の開會の辭に次ぎ左記の如く團員の五分間説演
▽希望に生きよ、小川長谷川一郎▽農村文化の建設としての社會奉仕、好

選手の 勇壯なる劍

あつて法學博士新渡戸稻造氏萬雷の如き拍手に迎えられ「吾等同胞の反省すべき點」の演題下に多大の感銘を興へ畫食に移り更に午後一時からは選抜